



第26回 GCI キャンパス・レクチャー・シリーズ



# アフリカの中のアンゴラ、 世界の中のポルトガル語圏

**講師：名井 良三 氏** (元駐アンゴラ日本大使)

近年になり著しい経済成長を遂げているアフリカ諸国のなかでも、豊富な天然資源をもつアンゴラは、1990年代の国内紛争の終結をへて BRICS に代わる新たなビジネスチャンスの場として世界から注目を集めています。こうしたアンゴラの経済成長を支える要因は何でしょうか。その一方で、経済成長を遂げるアンゴラがいま直面している課題はどこにあるのでしょうか。

神田外語大学イベロアメリカ言語学科ではこの度、名井良三元駐アンゴラ日本大使をお招きして、アンゴラの政治経済の現状や国内の日本企業の事業展開などから、広くアンゴラを含むアフリカ諸国やポルトガル語圏世界との関係についてもご講義いただきます。

**日時：2014年12月19日(金)**  
16:50～18:20

**会場：2号館103教室**

**司会：舩方 周一郎 先生**  
(イベロアメリカ言語学科)

**※ 事前申し込み不要、どなたでも  
ご参加いただけます**

## 講師略歴：

1975年

東京外国語大学卒  
(ポルトガル・ブラジル  
語学科)、外務省入省

1996年

在ポルトガル大使館  
一等書記官

1999年 在シカゴ総領事館領事

2001年 在モザンビーク大使館参事官

2004年 外務省在外公館課現地職員管理官

2007年 参議院国際部国際交流課長

2009年 在ベレン総領事

2011年—2014年11月 在アンゴラ大使



**主催**

神田外語大学  
イベロアメリカ言語学科

**共催**

グローバル・コミュニケーション研究所  
地域国際分野会議